

地球惑星科学基礎 III 中間テスト

2003.11.13 作成

- i) Fourier 級数, 複素 Fourier 級数, Fourier 変換の関係性を簡潔に述べなさい。(図解でもよい.)
- ii) 関数 $f(x)$ の Fourier 変換, 逆 Fourier 変換を以下のように定義する:

$$\hat{f}(k) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \int_{-\infty}^{\infty} f(x) e^{-ikx} dx, \quad (1)$$

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \int_{-\infty}^{\infty} \hat{f}(k) e^{ikx} dk \quad (2)$$

このとき, 次の関数の Fourier 変換を求めなさい。(ただし, $\alpha > 0$ とする.)

$$f(x) = e^{-\alpha|x|} \quad (3)$$

- iii) $-L < x < L$ の範囲で定義された周期 $2L$ の関数 $f(x)$ は

$$f(x) = \sum_{n=-\infty}^{\infty} c_n e^{in\pi x/L} \quad (4)$$

と表現できる. このとき, 複素 Fourier 係数 c_n は

$$c_n = \frac{1}{2L} \int_{-L}^L f(x) e^{-in\pi x/L} dx \quad (5)$$

で与えられることを証明しなさい。(ヒント: $f(x)$ の Fourier 級数展開 $f(x) = \frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L})$ から証明してもよいが, (4) から直接 c_n の表現を導くほうが簡単です. a_n や b_n を導出したのと同じような方法を用いればよい.)

- iv) 複素 Fourier 級数に関する Parseval の等式

$$\frac{1}{2L} \int_{-L}^L |f(x)|^2 dx = \sum_{n=-\infty}^{\infty} |c_n|^2 \quad (6)$$

を証明しなさい.